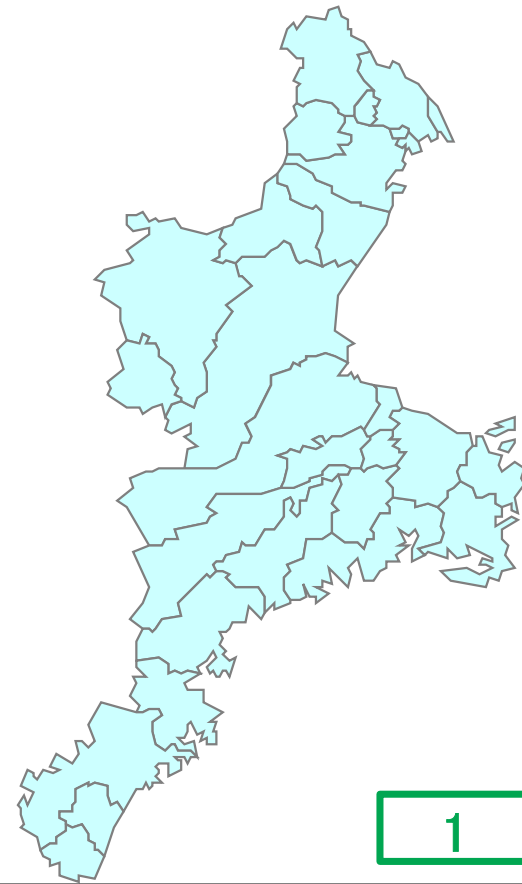




三重県農業版BCP(事業継続計画) 策定のススメ

経営者向け 短縮版 15分



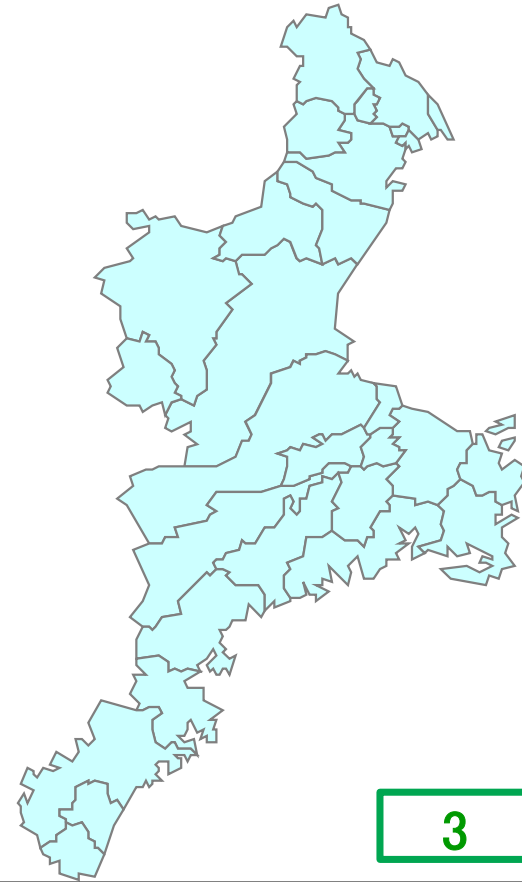
令和2年度農業版新型コロナウイルス感染症対応
BCP策定モデル創出事業

三重県農業版BCPモデル創出事業



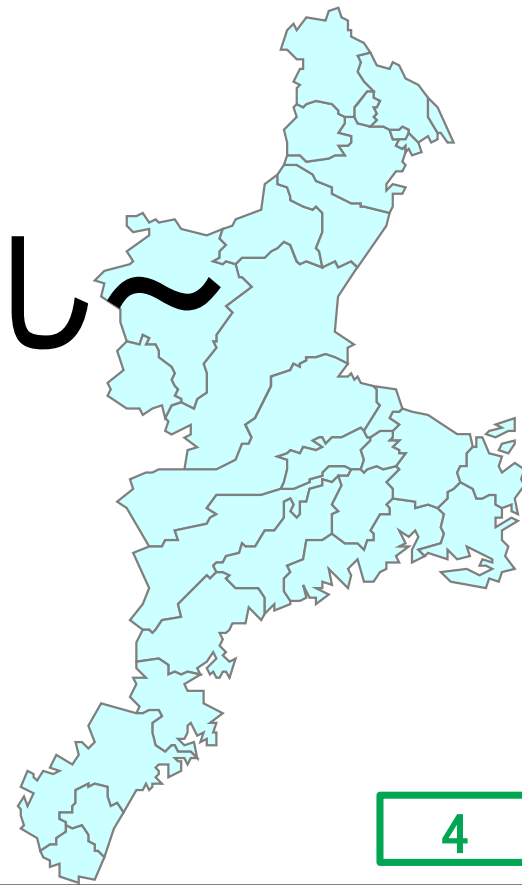
目次

- 知るの巻 災害を知り備える ～備えあれば憂いなし～
- 探すの巻 危機を探し出す ～身近な家庭から始める～
- 作るの巻 BCPを形に作り上げる ～ひな形を使って便利～
- 使うの巻 BCPを使える物にする ～実践をイメージした訓練～
- 戦うの巻 災害発生時の進め方 ～危機管理のプロに学べ～





災害を知り備える
～備えあれば憂いなし～

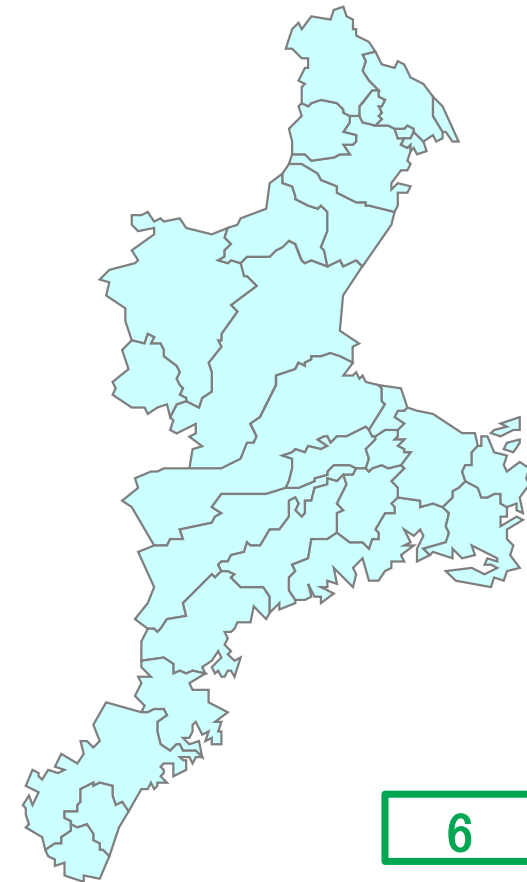




災害とは

災害には、いろいろなものがある

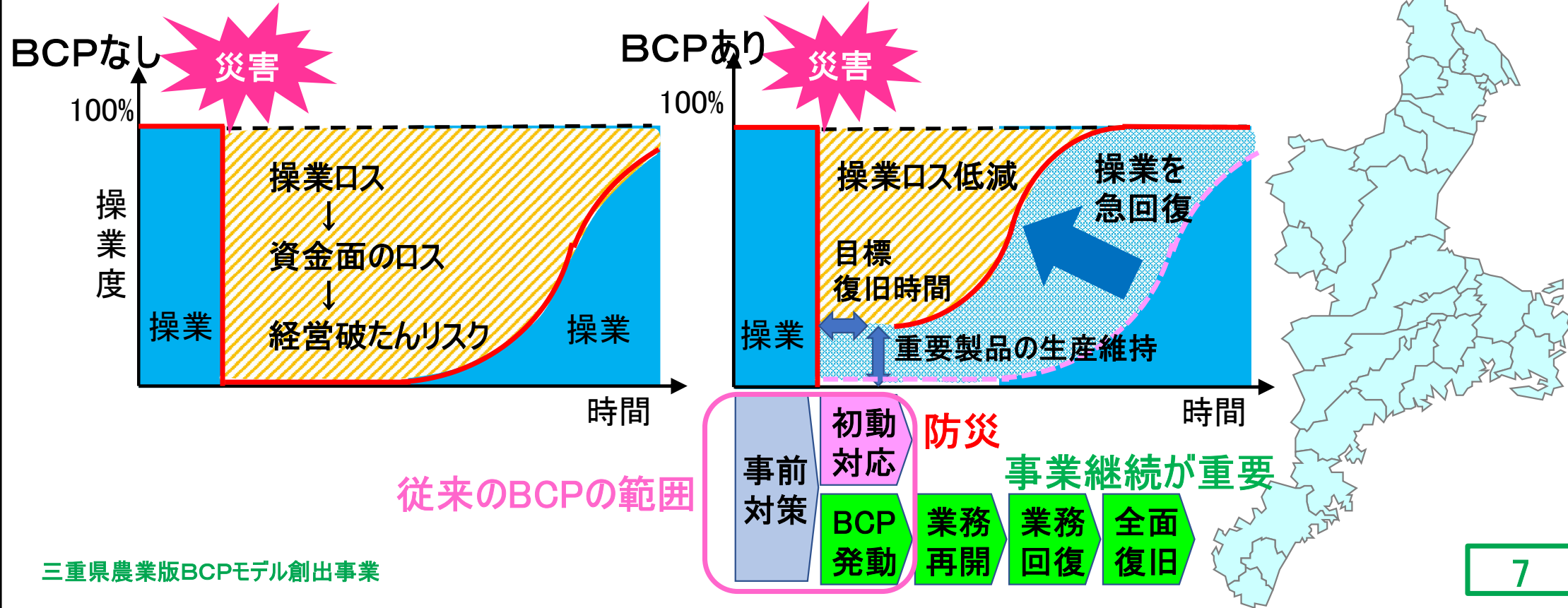
大区分	区分	災害
自然災害	地質	地震、火山、土砂
	気象	台風、干ばつ、雪害
	生物	感染症、昆虫の食害
人為災害	交通災害	航空機等事故
	産業災害	公害
	紛争災害	テロ攻撃、サイバーテロ





BCPの効果

経営への影響を、できるだけ小さくすることを目指す
準備も大事であるが、災害後の対応が重要である

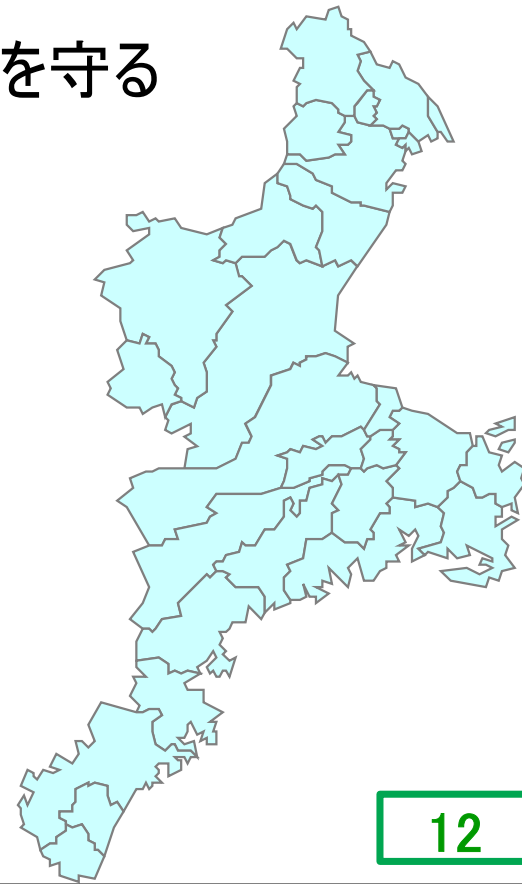




BCP(経営)として守るべき基本方針

BCPとしては、以下の項目を重視して作成する

1. **人命第一** ご自身、従業員及びその家族の命、生活を守る
 - ・感染拡大の防止
 - ・倉庫、ハウスでの安全の確保
2. 取引先への供給責任を果たし、信用を守る
 - ・風評被害の防止
 - ・在庫、流通の損失防止(サプライチェーンの維持)
3. 自社の経営を維持する





事業継続に必要な資源

原価構造から必要資源を考える

1. 原価の構成例

イチゴ 人件費:50%、**設備費:20%**、光熱費:10%、その他:20%

米 人件費:30%、**設備費:30%**、光熱費、その他:40%

→**償却費の元となっている農機具を失うと被害が大きい**

2. 収穫回数と販売のタイミング

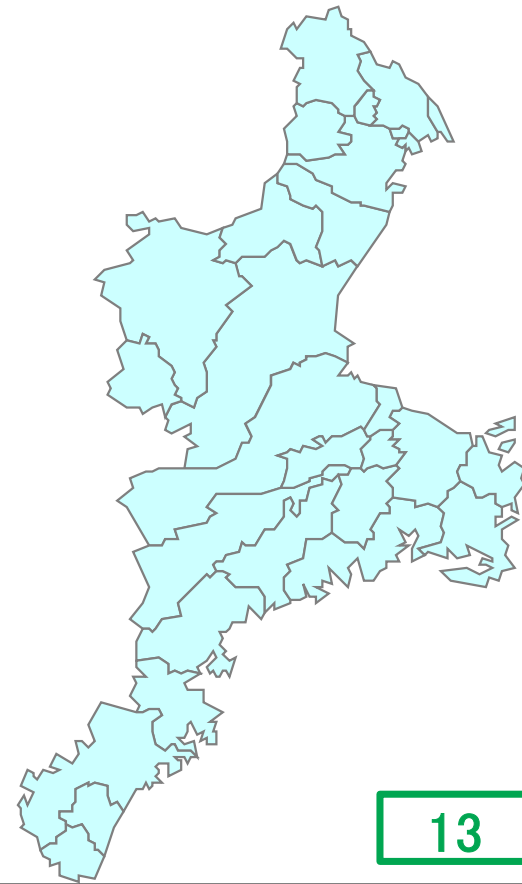
(三重県の委託業務でモデルケースとした米、茶、バラの事例)

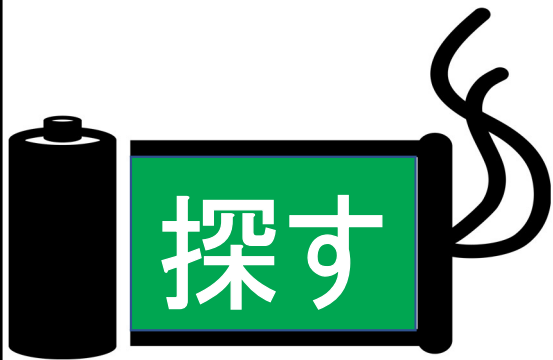
米 収穫:1回/年 販売:逐次(**在庫あり**)

茶 収穫:3回/年 販売:3回/年(製品即納)

バラ 収穫:多数回/年 販売:逐次(多数回/年)

→**米は、倉庫に在庫がある(在庫の保全が必要)**





危機を探し出す
～身近な家庭から始める～

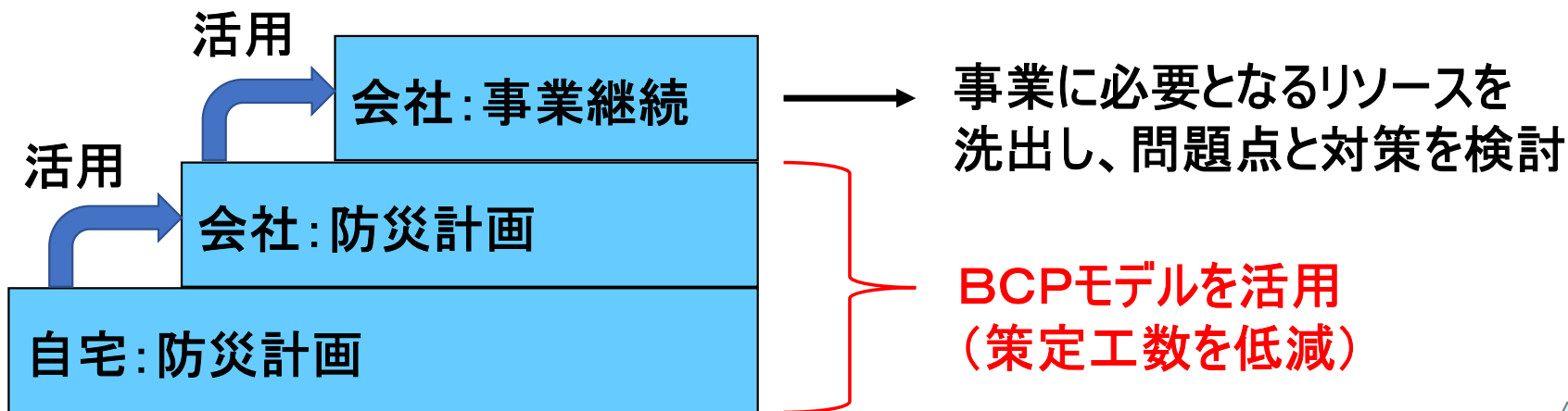




新しいBCP策定の手順

自宅の防災(感染症も含む)から始め、
ステップを踏んでBCPを完成させる

- ・防災と事業継続を分離する。
- ・簡単な自宅の防災・減災から理解し、次に事業継続を考え。
例えば、自宅と会社が近ければ、想定される災害は同じ。





自宅の防災（感染症）

厚生労働省の「新しい生活様式」の実践例

<https://www.mhlw.go.jp/content/000641913.pdf>



1913.pdf

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

（2）日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



密集回避 密接回避 密閉回避 換気 咳エチケット 手洗い

<https://www.mhlw.go.jp/content/000641913.pdf>

三重県農業版BCPモデル創出事業

（3）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（4）働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

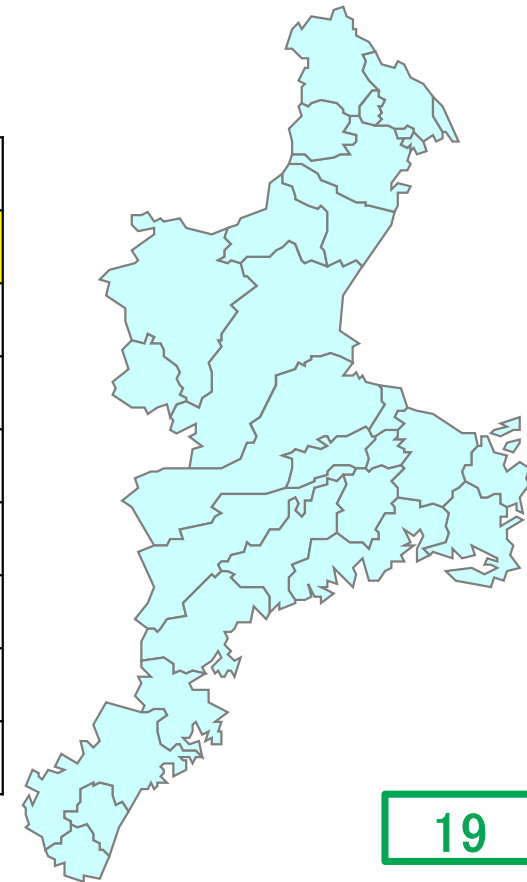


会社の防災の策定

会社の防災は自宅の防災を拡張

自宅の防災対策を基本に会社の防災対策を策定(赤字下線)。防災対策については、「防災事例集」を参考にしてみてください

災害	自宅	会社
共通	ハザードマップでリスクの把握	
地震	家具の転倒防止等	<u>機器の転倒対策。建屋の地震対策。</u>
津波	避難	避難。 <u>事業所内避難経路図の整備</u>
液状化	—	<u>建屋の沈降。配管の切断への対応</u>
洪水	避難	<u>水没エリアから重要な物品、情報機器を移動</u>
地すべり	避難	避難。 <u>崖と反対側へ重要な物品、機器を移動</u>
感染症	3密、手指衛生	3密、手指衛生。 <u>在宅勤務の準備</u>
避難	避難先	避難先。 <u>社員・家族の安否確認</u>



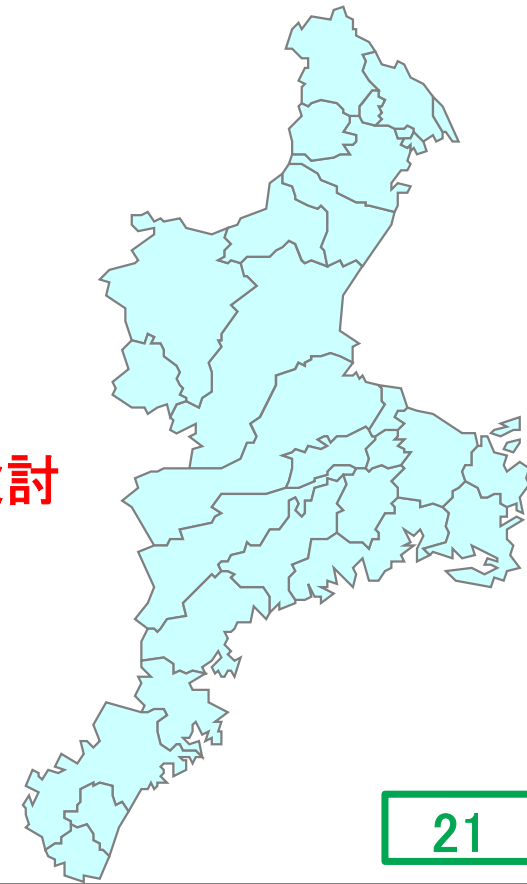
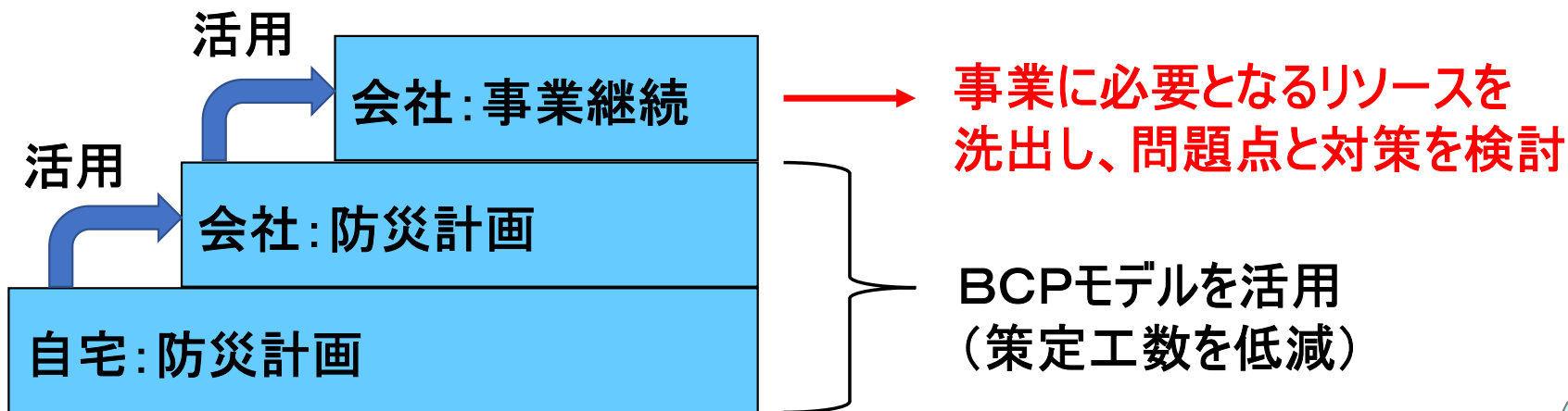


新しいBCP策定の手順

再掲

自宅の防災(感染症も含む)から始め、
ステップを踏んでBCPを完成させる

- ・防災と事業継続を分離する。
- ・簡単な自宅の防災・減災から理解し、次に事業継続を考え。
例えば、自宅と会社が近ければ、想定される災害は同じ。





ブレインストーミングを始める前に

大勢で災害時のリスクと対応策を洗い出す

手法：ブレインストーミング

メンバー 5～10名

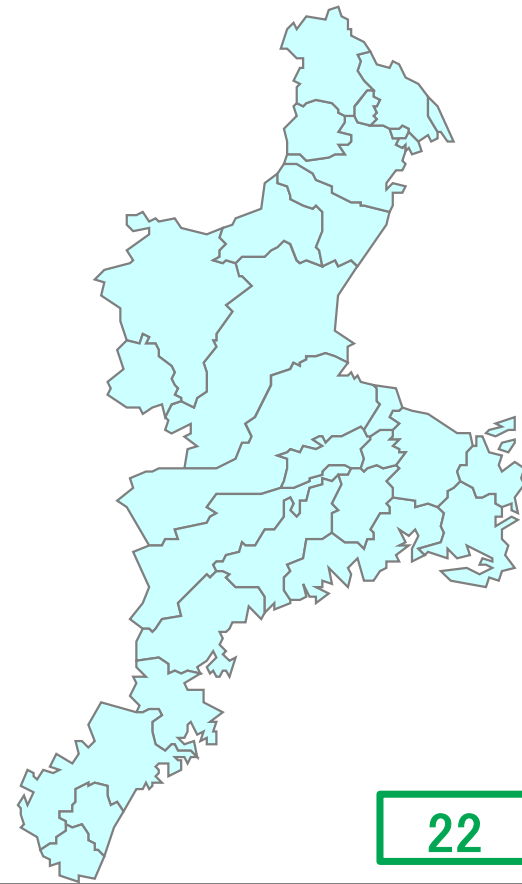
ルール

- ①結論厳禁：批評しない、結論を出さない
- ②自由奔放：荒削りなアイデアを歓迎する
- ③質より量：量と多様性を重視する
- ④便乗歓迎：人のアイデアから連想し発展させる

アイデアの発想と量産には、5～10分

量産してきたアイデアをまとめて討論、連想により

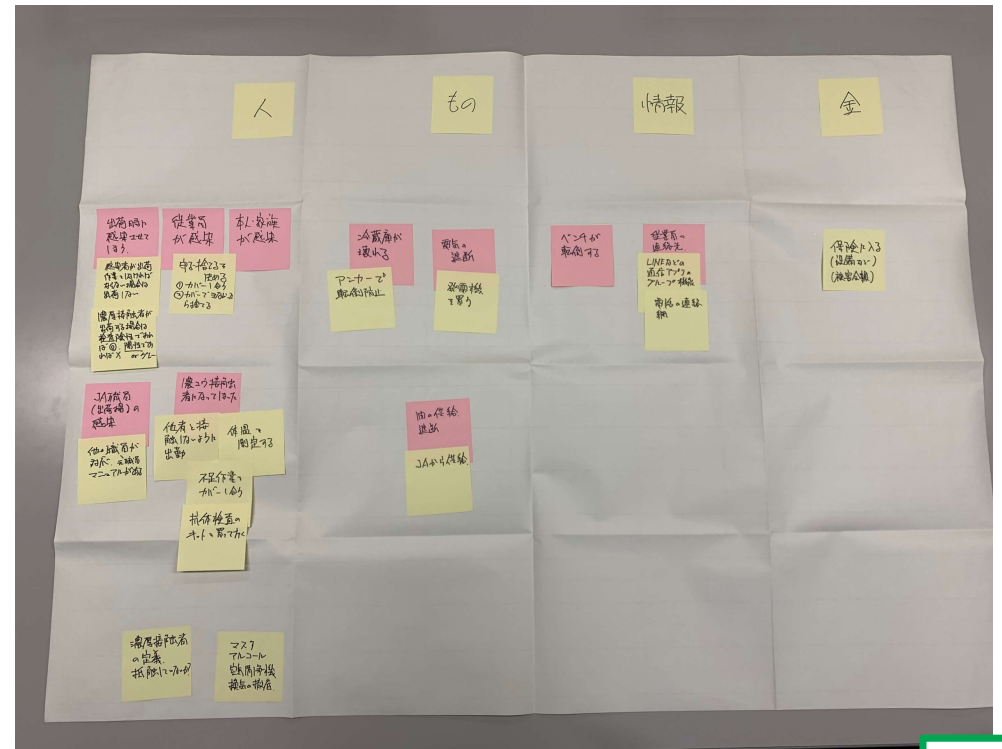
良いアイデアにまとめるには、15～20分



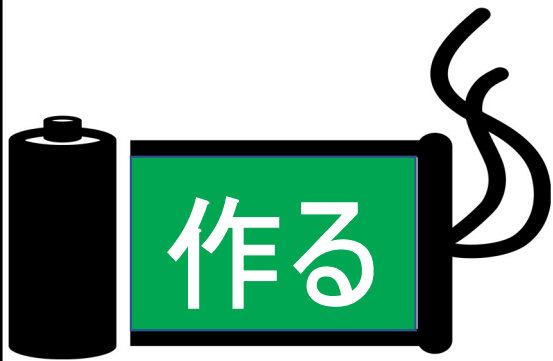


ブレインストーミングの事例

整理し易いように、縦: 季節(農事暦参照)
横: 4M(人、もの、金、情報)で区分けする



三重県農業版BCPモデル創出事業



BCPを形に作り上げる
～ひな形を使って便利～





簡易版BCPの最終版

実例のため一部墨塗りあり

BCPを
A4版で
2枚に
まとめ、
従業員と
共有する

〇〇のBCP(事業継続計画書) 【感染症編】

1. 基本方針(事業継続で悩んだ時に立ち返るべき基本的な考え方)

1. 基本方針

2. 重要業務(以下に重要業務は優先的に取り組む)

2. 重要業務

3. 推進体制(以下の体制でBCPを推進していく)

3. 推進体制

4. 想定される災害

4. 想定される災害

5. 感染症 予防用備品、消毒用備品

5. 備品

6. 取引先連絡リスト

6. 地震BCP 準備～復旧の手順

フェーズ	リソース	区分	課題	対応策	実施状況
1:準備	1:人	体制	BCP推進体制	BCPマニュアルに記載	5:実施済
1:準備	1:人	教育	感染症、BCPの教育	感染症、BCPを教育	5:実施済
1:準備	2:物	予防備品	感染予防用備品	<感染予防用備品リスト>参照	5:実施済
1:準備	2:物	消毒備品	消毒用備品	<消毒用備品リスト>参照	5:実施済
1:準備	3:金	資金確保	資金不足の対応	収入保険に加入する	5:実施済
1:準備	3:金	資金確保	資金不足の対応	金融機関との交流を持つ	5:実施済
1:準備				情報なので掲示しな	5:実施済
2:予防		発動	感染予防の発動	国内感染者が発生した時点	
2:予防	1:人	従業員	感染判断	以下の症状があれば連絡要 ・体温 37.5度以上が発熱 ・カラダがだるい ・息苦しい ・匂い、味を感じない	5:実施済
2:予防	1:人	従業員	感染判断	連絡方法の周知徹底	5:実施済
2:予防	2:物	予防品	感染予防品の購入	必要に応じ感染予防品を購入する	5:実施済
2:予防	2:物	消毒備品	消毒備品の購入	事前に消毒備品を購入する	5:実施済
2:予防	2:物	感染確認	感染の不安の解消	感染を確認できるキットの購入	5:実施済
2:予防	4:情報	感染確認	感染の不安の解消	感染を確認してくれる病院の把握	5:実施済
2:予防	4:情報	感染確認	保健所の確認	保健所、かかりつけ医の連絡先を確認	5:実施済
2:予防	4:情報	情報収集	感染発生状況を知る	県内、市町村での感染者発生状況を把握。 必要に応じて事業縮小を検討	5:実施済
3:発生	1:人	感染発生	感染者から情報収集	感染の連絡を受けた際に ・症状、発症日を聞く ・重症化に備え本人以外の連絡先を聞く	4:準備完
3:発生	4:情報	対応手順	感染が疑われる	<感染発生対策フロー>参照	4:準備完
3:発生	4:情報	取引先連絡	取引先への連絡	<感染発生対策フロー>参照	4:準備完
4:復旧	1:人	職場復帰	感染者の職場復帰	<感染発生対策フロー>参照	4:準備完
4:復旧	1:人	職場復帰	入院者の職場復帰	<感染発生対策フロー>参照	4:準備完
4:復旧	1:人	人手不足対応	代替要員の確保	業務復旧に際し人手が不足する場合は代替要員を探す	4:準備完
4:復旧	4:情報	業務復旧	業務復旧の手順	<業務復旧手順>参照	4:準備完

7. 取引先連絡リスト

区分	項目	会社名	氏名	電話番号
顧客	重要顧客			
保健所	受診・相談セン	三重県救急医療センター	9:00～21:00	0598-50-0518
	電話で相談が難しい	三重県共通	21:00～翌9:00	059-229-1199
			メール	yakumus@pref.mie.lg.jp
			FAX	059-224-2344
病院	かかりつけ医	松阪市民病院		0598-23-1515

7. 取引先連絡リスト

三重県農業版BCPモデル創出事業



簡易版BCPのまとめ方(3)

ひな形に、必要事項を記入してください。

地震編、感染症編において、

1項～4項までは共通、

5項以降は、それぞれ別に作成する。

6. BCP(準備～復旧)

各課題に対する対応策を実施するかを選択

不採用 この課題はない

未実施 全く手つかず

計画中 実施の予定

準備完 対策は実施済。災害に活用予定

実施済 対策は実施済

6. 感染症BCP 準備～復旧の手順

フェーズ	リソース	区分	課題	対応策	実施状況
1:準備	1:人	体制	BCP推進体制	BCPマニュアルに記載	5:実施済
1:準備	1:人	教育	感染症、BCPの教育	感染症、BCPを教育	5:実施済
1:準備	2:物	予防備品	感染予防用備品	<感染予防用備品リスト>参照	5:実施済
1:準備	2:物	消毒備品	消毒用備品	<消毒用備品リスト>参照	5:実施済
1:準備	3:金	資金確保	資金不足の対応	収入保険に加入する	5:実施済
1:準備	3:金	資金確保	資金不足の対応	金融機関との交流を持つ	5:実施済
1:準備	4:情報	従業員	従業員への情報連絡	<従業員連絡リスト>作成。個人情報なので掲示しない。SNSを活用した連絡網を作る。	5:実施済
1:準備	4:情報	取引先	取引先への情報連絡	<取引先連絡リスト>作成。	5:実施済
2:予防		発動	感染予防の発動	国内感染者が発生した時点	
2:予防	1:人	従業員	感染判断	以下の症状があれば連絡要 ・体温 37.5度以上が発熱 ・カラダがだるい ・息苦しい ・匂い、味を感じない	5:実施済
2:予防	1:人	従業員	感染判断	連絡方法の周知徹底	5:実施済
2:予防	2:物	予防品	感染予防品の購入	必要に応じ感染予防品を購入する	5:実施済
2:予防	2:物	消毒備品	消毒備品の購入	事前に消毒備品を購入する	5:実施済
2:予防	2:物	感染確認	感染の不安の解消	感染を確認できるキットの購入	5:実施済
2:予防	4:情報	感染確認	感染の不安の解消	感染を確認してくれる病院の把握	5:実施済
2:予防	4:情報	感染確認	保健所の確認	保健所、かかりつけ医の連絡先を確認	5:実施済
2:予防	4:情報	情報収集	感染発生状況を知る	県内、市町村での感染者発生状況を把握。 必要に応じて事業縮小を検討	5:実施済
3:発生	1:人	感染発生	感染者から情報収集	感染の連絡を受けた際に ・症状 発症日を聞く	4:準備完



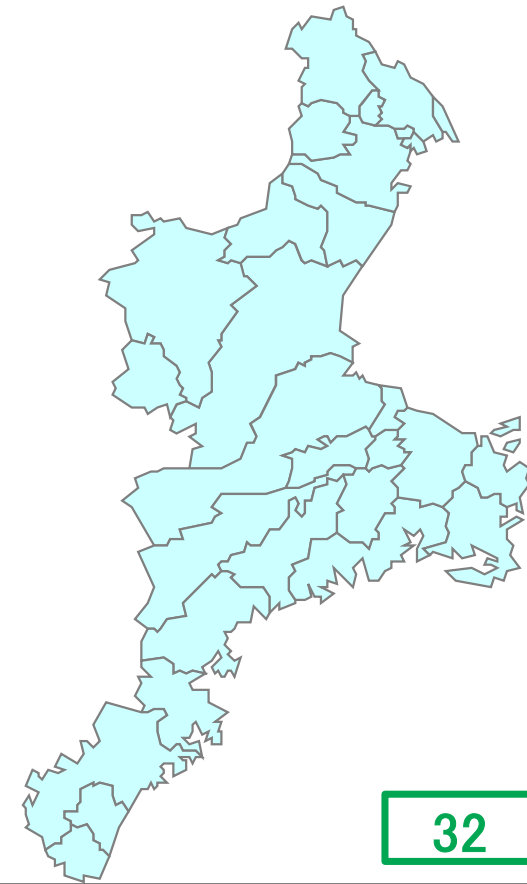
農業用防災事例集(感染症)

防災対応は、モデル事業の中で良い事例を集め事例集にした

事例集の使い方： 農業用防災事例集は、下記の構成。

採用可否の欄に採用：○、対策済：●を記入。

災害	リスク	対応策	採用可否
感染症	感染予防	従業員への徹底	
		ビラの掲示	
		接触確認アプリの導入	
		ドアノブなどの消毒	
		消毒用アルコールの設置	
		体温測定	
	3密対策	換気	
		加湿器の設置	
		休憩時間の分散	
		休憩室のレイアウト	
		ツイタテの設置	
		作業エリアの分離	
		手袋などの個人別管理	
外来者との非対面对応			
情報管理	シフト管理		





農業用防災事例集(実例)

防災対応は、モデル事業の中で良い事例を集め事例集にした

感染予防の周知(1)

- ①従業員への徹底:手指の消毒、マスク着用の徹底
- ②ビラの掲示。入口、休憩室、トイレなど手指消毒が必要な場所



7

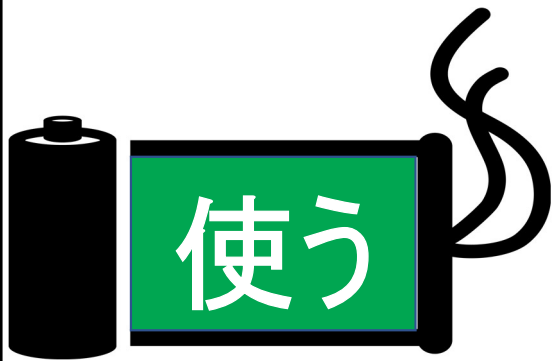
三重県農業版BCPモデル創出事業

インフラ(燃油)

- ①タンクの転倒防止。基礎に確実に固定する
- ②流出防止。防油堤の設置。消火器の設置
- ③必要に応じ、消防署に届出。
- ④配管の破損防止。フレキシブル部分を作る



29



BCPを使える物にする ～実践をイメージした訓練～



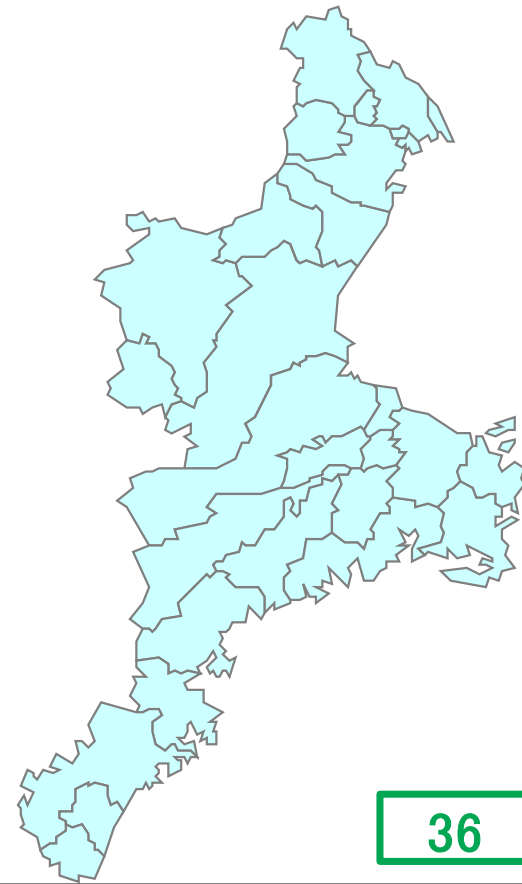


BCP策定後の課題

実際の運用や災害発生時の行動記述の不足

実際にBCPを作成したが、実際の運用や災害発生時の対応について、不明点が多いことがわかった。
そのため、以下の内容をBCPに補足した。

- (1) 感染症の疑いがある人が発生した場合の対応方法
- (2) 地震などの災害が発生した時の行動方法

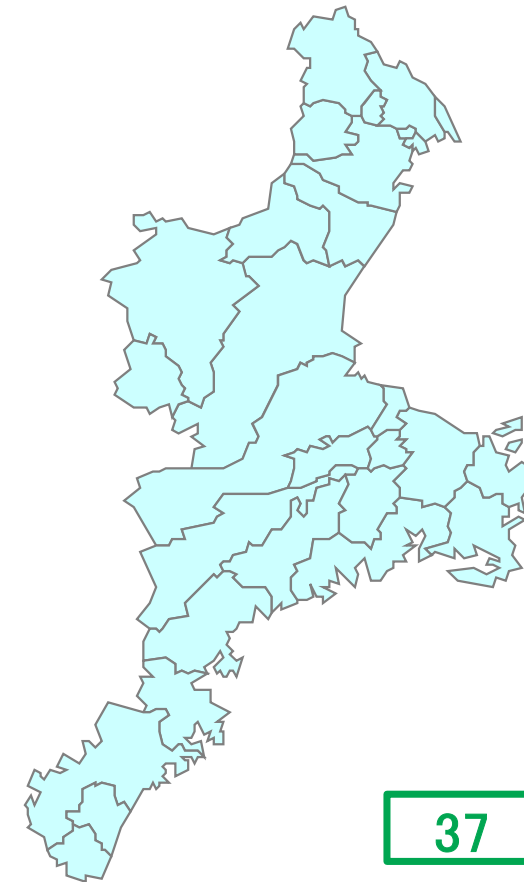




感染者発生時のフロー

感染症の発生状況と対応策

症状		対応			
本人	家族	BCP	本人	従業員	取引先
症状なし	グレー(例、子供の学校で陽性者発生)	注意喚起	本人の健康状態をこまめにヒアリング	注意喚起	—
症状なし	濃厚接触者の疑い	PCR検査の結果待ち	出社停止 継続日数様子見	注意喚起	—
症状なしでも濃厚接触者	感染	BCP発動	保健所の指示で出社OKになるまで出社停止	濃厚接触者対応 消毒 事業停止	情報連絡
風邪の症状	<関係なし>	注意喚起	出社停止 継続日数様子見	注意喚起	—
感染の兆候	<関係なし>	PCR検査の結果待ち	出社停止 保健所へ連絡 PCR検査待ち	注意喚起	—
感染	<関係なし>	BCP発動	保健所の指示で出社OKになるまで出社停止	濃厚接触者対応 消毒 事業停止	情報連絡





BCP訓練・シミュレーション(経営者向け)

訓練用のシミュレータを作成

災害を想定した訓練を実施

- (1) 感染症の訓練
- (2) 地震の訓練

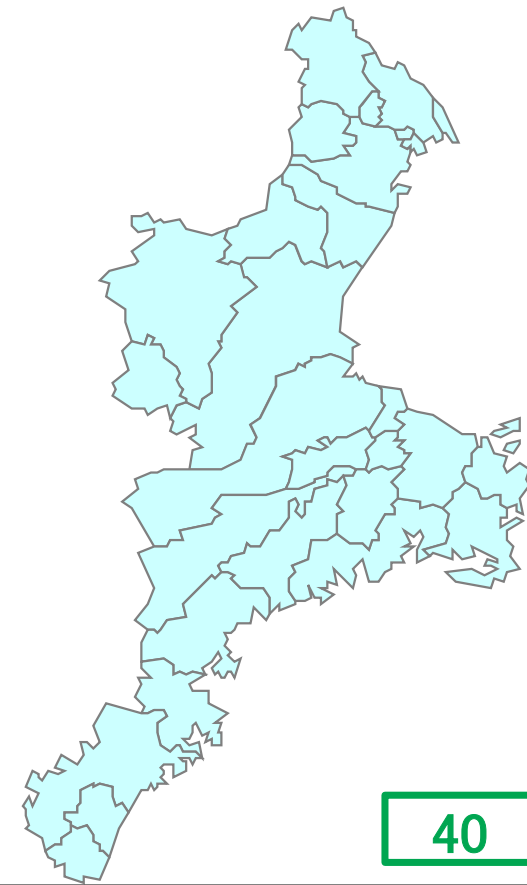
三重県のホームページ

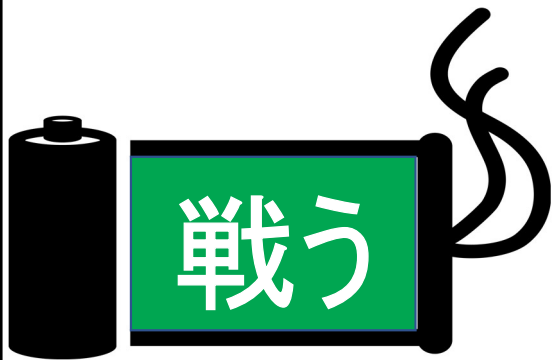
農業版BCP(事業継続計画)策定のススメ
で公開



<https://www.pref.mie.lg.jp/NINAITE/HP/m0105900120.htm>

三重県農業版BCPモデル創出事業





災害発生時の実戦方法 ～危機管理のプロに学べ～





災害発生時への対応

防災計画で幾ら事前に対策(リスク(危機)を低減する対策)を取っても、全く問題が発生しないことはない。ご存じのように東日本大震災では「想定外」と言う言葉が使われ、世界でも例を見ない原発事故が起こった。事前に非常に高度な検討をしても、津波の高さの想定が甘ければ、この様な大惨事を招く事例である。

そこで、災害発生時の対応方法も、決めておく必要がある。

(1) 課題の見える化

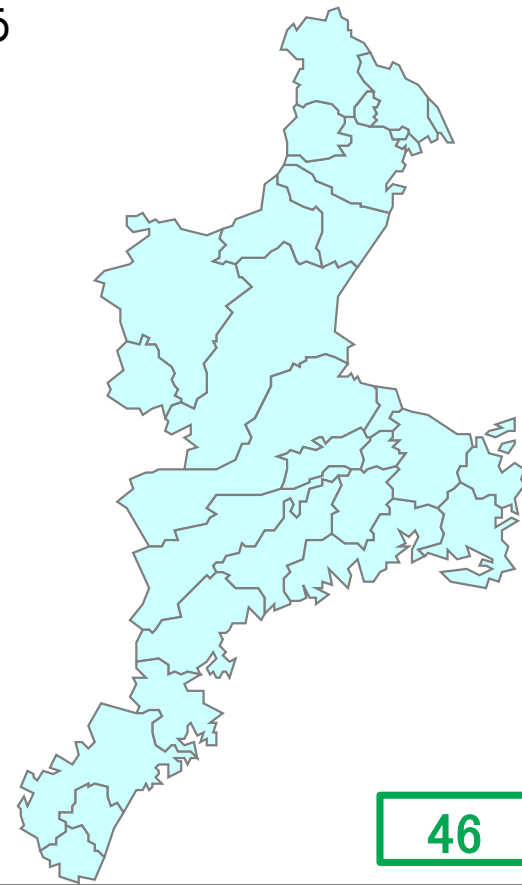
対策本部を1つの部屋に作る
部屋の壁に課題を貼り付けていく

(2) 目標と実態の差を明確にする

重要事業の復旧目標に対し、どうなる見通しかを書いてみる
遅れている原因を明確にして、対策を考える

(3) 全員の意識の統一

対策本部で何をどう対応しようとしているのかを従業員にも共有する





トヨタの改善事例

コロナで必要となった医療用ガウンの製造をトヨタが支援

<https://youtu.be/GGJt8VUu4cc>

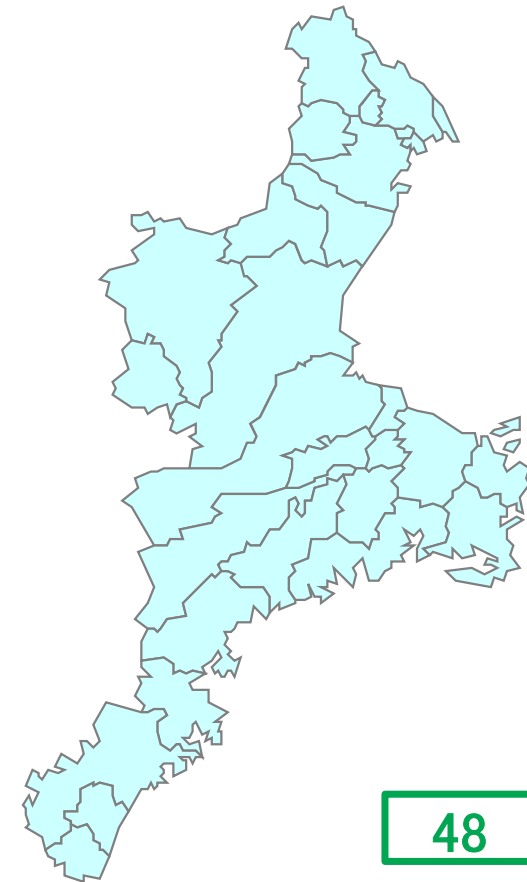


[https://youtu.be/](https://youtu.be/GGJt8VUu4cc)



[GGJt8VUu4cc](https://youtu.be/GGJt8VUu4cc)

三重県農業版BCPモデル創出事業





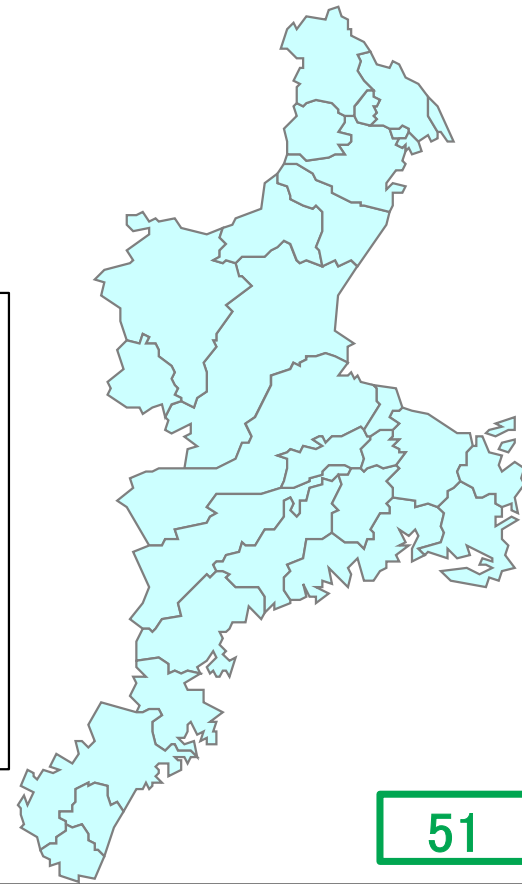
最後に

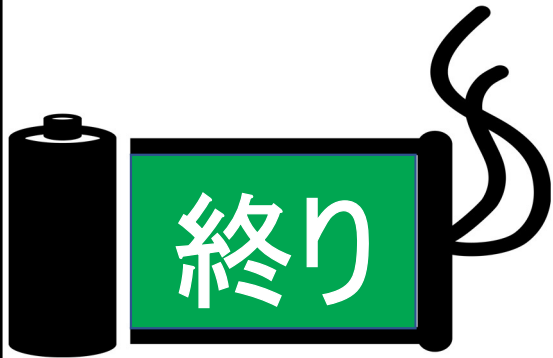
BCPの最後に「復旧の心構え」を記載した。
万が一、大きな災害に遭っても会社の復旧に向け、
前向きな気持ちを忘れずに取組んで頂ければと思う。

江戸時代の米沢藩主 上杉鷹山

「**為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり**」
破綻寸前の米沢藩を再建させた名君は、弱気な部下を鼓舞した

復旧の時に大事なことがある。それは業務を復旧させるという強い信念。
「これもない、あれもない」とか「それしかない」と思うと、やる気がなくなる。
そこで、気を取り直し、いろいろと方策を考えると、「それでもやれる」、
「こんな対応もあった」と次々とアイデアが出て来る。
できれば、大勢で意見を出し合うと、良い解決策が見つかるかも知れない。
次に、大事なことは、まずは、やってみること。100%上手く行かなくても、
やってみれば、次の課題が見つかり、さらに前へ進めれる。
問題点や課題が沢山ある時は、ブレーストーミングのように付箋紙に問題点や課題を
書き出し、それを貼りだすと、どれから着手すべきかが、わかりやすくなる。





本資料、動画に関する問い合わせ先

三重県 農林水産部 担い手支援課

〒514-8570 津市広明町13番地(本庁6階)

電話番号:059-224-2354 ファックス番号:059-223-1120

メールアドレス:ninaite@pref.mie.lg.jp

